

# 協働通心

令和6年度 第1号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

『協働通心』は、地域協働合校（小・中学校や地域で、社会の変化に対応するために、子どもと大人が世代を超えて知恵を出し合い、学び合い、協力して共に活動する取組）の活動状況を、広く市民の皆さんにお知らせする情報紙です。

今回は、笠縫東小学校と山田小学校の取組みについてお知らせします！



## 笠縫東小学校 「葉山川ふるさとたんけん 昔の葉山川について知ろう」

笠縫東小学校では、学区に流れる「葉山川」を題材に、各学年に応じた環境学習を行っています。4年生では、「葉山川ふるさとたんけん」として、葉山川を見に行ったり地域の方からお話を聞いたりして学びを深めています。

5月は葉山川を実際に見に行きました。川の流れ方、魚や鳥などの生態系を近くで見ることができ、いろいろな気づきがあったようです。

6月には地域の方からお話を聞き、葉山川の昔の様子や、葉山川とくらしの関わりについて教えていただきました。子ども達にとっても、自分たちの住んでいる地域の昔の状況を学ぶいい機会になりました。



## 山田小学校 「びわ湖のおいしさ再発見 子どもたち考案メニューが学校給食登場～びわ湖の魚（ホンモロコ）使用～」

山田小学校の4年生は、毎年山田漁業組合の協力のもとフナの放流を行っています。その中で湖魚の漁獲量や消費量の減少という課題を知りました。琵琶湖の魚のおいしさを広めたいという思いから、立命館大学の学生団体「BohNo」とアイデアを出し合いながらメニューをいくつか考え、試作も行いました。そのアイデアのひとつである「ホンモロコのネギだれかけ」が学校給食の献立の地場産業メニューとして給食に登場。4年生の時に考えたメニューが5年生で実現しました。

当日は給食センタースタッフや山田漁業組合の方を招待し、感謝の言葉を伝え、一緒に給食を食べました。ホンモロコのおかわりに並んでいる児童もたくさんいました。

